

平成25年第2回市議会定例会における主な課題と対応

総務部

企画課 質問要旨	答弁要旨	具体的対応・ スケジュール
(森川議員一般質問) ー市全体の連合町内会の設置ー ③連合会設置への問題点について伺う。	H24 の市民アンケートで町内会の活動は必要かとの問いでは必要が 77%、必要ないが 16.8%の回答。H23 の各町内会へのアンケート調査での市全体の連合町内会の必要性の問いでは必要が 36.6%、必要ないが 33.3%、わからないが 25.8%との回答。町内会活動は必要であるが、市全体の連合町内会の必要性については、気運が高まっていないと推察。地域応援チームなどを通じて連携、今後の動向に応じて、必要な対応に努めてまいる。	まちづくり地区懇談会や地域応援チーム活動で市全体の連合会の設置について要望が多数あった場合、市の関わり(コーディネートの方法)について、庁内関係課や社協等の関係機関と検討する。
(高田議員一般質問) ー地域応援チームについてー これまでの地域応援チームの活動で、果たしてきた役割、課題・成果を通して、今後、検証を行い、制度の見直しも含めた検討をすることとしているが、現在における検討状況を伺う。	地域応援チームの活動については、一定の成果が得られているものと考えている。しかし、地域の要望に十分応えられないケースや課題によっては、解決に結びつかないものもある。本年度、活動を行いながら、リーダー会議で、これまでの取り組みの検証を行い、制度の見直しや新たな仕組み等の検討を始めたところである。	7 月より各ブロックにおいて、活動を開始。H25 年度末までにブロックリーダー会議において、これまでの取り組みの検証を行い、制度の見直しや新たな仕組み等の検討結果をまとめる。
(高田議員一般質問) ー自治組織についてー 少子高齢化が進み地域生活における課題は、ますます複雑化・多様化している。市は、町内会等の自治組織の課題や高齢者世帯の見守り等の活動について把握しているか伺う。	市では、町内会等における高齢者世帯の見守り等の取り組みについては、一部の町内会で、訪問活動を行っているが、全体としては把握していないところ。このため、協働のまちづくりの観点から町内会等との情報交換を行いながら、見守り活動等の把握に努めてまいる。	地域応援チームの活動での把握していく。 自治組織代表者会議やまちづくり地区懇談会等で情報交換を行う。

平成 25 年第 2 回市議会定例会における主な課題と対応

保 健 福 祉 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
1. 6月15日新聞報道された子宮頸がんワクチンの対応について、今後の市の考え方を伺う 吉岡議員（一般質問）	・厚生労働省からの通知によりますと、ワクチンとの因果関係を否定できない持続的な疼痛が接種後に特異的に見られたことから、同副作用の発生頻度等がより明らかになり、国民に適切な情報提供ができるまでの間、定期接種を積極的に勧奨すべきではないとの内容であります。 市としましては、子宮頸がんワクチンは予防接種法による予防接種であることから、国の通知に基づき、対象者のうち希望者には有効性とリスクを理解していただいた上で、実施してまいりたいと考えております。	・子宮頸がんワクチンは予防接種法による予防接種であることから、国の通知に基づき、対象者のうち希望者には有効性とリスクを理解していただいた上で、実施してまいりたいと考えております。
2. 風疹が全国的には流行傾向にあり、苫小牧では市の助成をおこなっている。早目の対応として、本市は助成する考えはないのか。 吉岡議員（一般質問）	・他市町村の状況を見ながら、対処して参りたいと考えております。	・近隣の状況を調査し、保健所にも確認中

平成25年第2回市議会定会における主な課題対応

経済部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
・農業所得倍増計画が北海道に向けた内容となるよう行動すべきでないか。(一般質問・桜井議員) ・行政と農協の連携を図るため、情報を共有する共通の場を設けてはどうか。(一般質問・桜井議員) ・現状では、地元企業がハスカップを活用した事業拡大、雇用増が図られない。ハスカップ等の振興作物をどのように進めていくのか。(一般質問・土井議員)	・計画に関する通知等がなく把握できない。今後、関係機関・団体と情報を共有し、必要な対応を行っていく。 ・地域経済円卓会議や農業振興協議会などを通じて、情報の共有や連携を図り対応に努める。 ・労働力の確保をはじめ、栽培技術の平準化、土地改良事業に伴う代替農用地の確保等の課題について、農協など関係団体と協議を進め、供給体制の構築に努める。	・T P P交渉の動向も含め情報を収集し、関係団体等と必要に応じ対応していく。 ・農業振興協議会幹事会を8月に開催予定。(農業振興地域整備計画変更の件など) ・地域経済円卓会議を8月に開催予定。 ・6/18:ハスカップ生産組合、JAびばいと社会福祉法人の協力を得た収穫作業の実施について協議。 ・6/28:北海道光生会、JAびばい、市の3者で実施に向けて協議。

平成25年第2回市議会定例会における主な課題と対応

都市整備部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
市営住宅の効率的な運用として、江別市では、家族が多く広い住宅に住んでいる世帯で、子供の自立などで世帯人数が減少し、一人暮らしになった場合に、単身向け住宅へ住み替えることをあらかじめ約束する誓約書の提出を求めるほか、住み替えの費用は市が負担する制度を設けたが、本市においても一人暮らしになる入居者も多くなると考えるが、今後の対応と、取組みを伺う。 (土井議員 一般質問)	市では、現在要綱を定めており、同居人の人数が増減した場合における、住み替え先となる住宅の規模を定め、入居者からの申し入れがあった際、相談に応じているが、入居者からの誓約書の徴収及び、住み替え費用の負担などの施策については、今後、先進事例の状況などを踏まえ調査研究を行う。	江別市における今後の条例、規則等の改正状況を確認する。

平成25年第2回市議会定例会における主な課題と対応

教育委員会

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
教職員の処分については、議会に報告するなど検討すべきと思うが、教育長の考え方を伺う。 (一般質問：丸山議員)	十分検討したい。	道教委が公表したもので、市内小中学校教職員に係るものについて、市議会に報告することとし、報告の範囲、方法等を質問議員、議会事務局等と協議のうえ定め、実施する。

平成 25 年第 2 回市議会定例会における主な課題と対応

消 防 本 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
消防の広域化について、今までの経過とこれからの取り組みについて (一般質問 長谷川議員)	平成 22 年に南空知消防広域化等研究会を立ち上げ、南空知圏の消防に関する調査・研究を行い、平成 23 年に報告書をまとめた。 この報告書では広域化が望ましいとの内容となっていますが、継続して検討することとし現在に至っている。 なお、全国的に見ても広域化に至った消防本部が 8 パーセントに過ぎないことから、国においては平成 25 年 4 月に市町村の消防の広域化の基本指針を一部改正し、広域化の推進期間を平成 30 年 4 月まで延長したほか、広域化重点地域の指定などが取り込まれている。 これらを踏まえ本年の 8 月ごろには新たな北海道消防広域化推進計画が作成されることとなっており、市といたしましてもこの計画を踏まえ更に慎重に協議・検討していく。	平成 25 年 4 月 市町村の消防の広域化の基本指針一部改正 平成 25 年 8 月 (予定) 北海道消防広域化推進計画 広域化推進期間 平成 30 年 4 月 1 日までに広域化